

令和6年度指定管理者運営状況検証シート

1 施設名等

令和7年3月31日現在

施 設 名 (設 置 年 月 日)		えひめこどもの城 (平成10年10月24日)	所 在 地 電 話 H P	愛媛県松山市西野町乙108番地1 089-963-3300 http://www.i-kodomo.jp/	
県 所 管 課	保健福祉部生きがい推進局子育て支援課		指定管理者の名称	伊予鉄総合企画株式会社	
指 定 期 間	令和6年4月1日～令和11年3月31日(5年間)	利 用 料 金 制	○	あり	なし

2 施設の概要と指定管理者が行う業務等

3 検証のための指標の推移

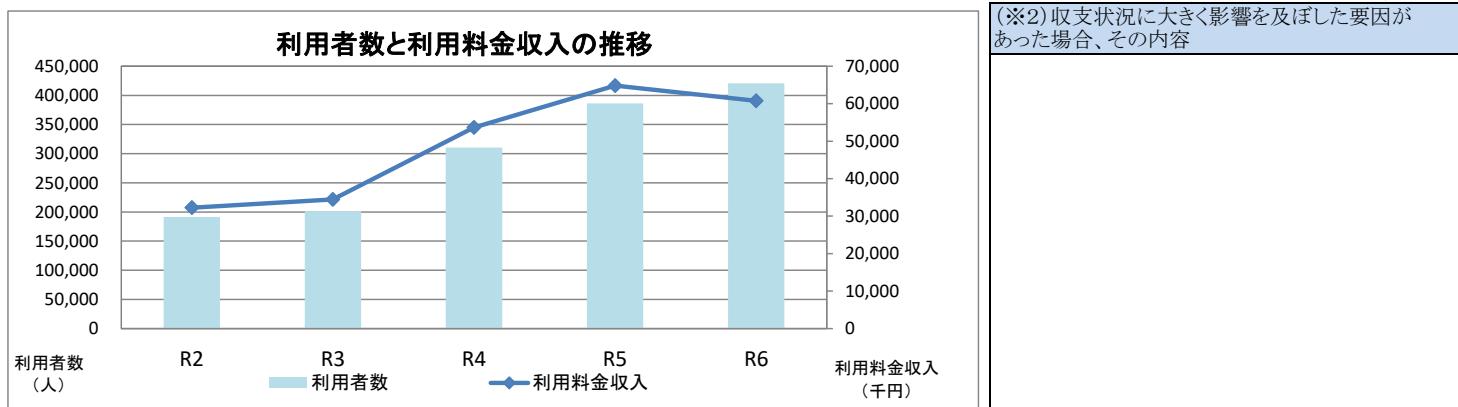
(1)利用者数

年 度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
年 間 利 用 者 数	191,380 人	201,290 人	310,330 人	386,270 人	420,630 人

(2)収支状況

年 度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
収 (A) 入	290,955 千円	412,433 千円	332,708 千円	371,626 千円	360,292 千円
委 託 料	208,141 千円	306,534 千円	223,309 千円	253,191 千円	254,293 千円
委 託 料 (補正額)※	14,294 千円	29,018 千円	12,110 千円	0 千円	0 千円
利 用 料 金 収 入	32,247 千円	34,467 千円	53,678 千円	64,826 千円	60,781 千円
そ の 他 収 入	36,273 千円	42,414 千円	43,611 千円	53,609 千円	45,218 千円
支 (B) 出	291,133 千円	412,433 千円	332,708 千円	364,907 千円	359,697 千円
事 業 費	19,303 千円	28,204 千円	34,757 千円	34,584 千円	32,633 千円
維 持 管 理 費	76,978 千円	182,735 千円	108,992 千円	109,239 千円	109,538 千円
人 件 費	139,861 千円	148,202 千円	131,430 千円	159,332 千円	160,551 千円
そ の 他 支 出	54,991 千円	53,292 千円	57,529 千円	61,752 千円	56,975 千円
収 (A) - 支 (B)	▲ 178 千円	0 千円	0 千円	6,719 千円	595 千円

(※)新型コロナウイルスの影響等により、補正予算で増額した委託料を記載



4 管理運営の評価

(1) 提供サービスや利便性の向上のための取組み

指定管理者の自己検証	県施設所管課の検証	評価
<p>○前半は新遊具として昨年オープンしたコシロ・アドベンチャーが2年目となり前年の反動で減少したことや酷暑による夏季の来園者減少など厳しい状況が続いた。大きな転換期として毎年開催していた冬季夜間イベントを「フェスタ・ルーチェinえひめこどもの城」として他の企業とも協力して開催し、各メディアにも大きく報道いただけたこともあり、下期からの来園者を大きく伸ばすことができた。</p> <p>○ジップラインの利用者は8,892人となった。SNS発信や県外広報に努め、長期休暇中に県外利用者が多く利用するなど、利用者増に向けて良い傾向となっている。夏季の酷暑を考えると前年からの減少率はゆるやかで広報効果が出てきていると考えられる。またコシロ・カードも有効活用し利用促進に努めている。コシロアドベンチャーの利用者は、41,374人と昨年度と比較すると減少しているが、初年度にあったJA共済さんのイベントや酷暑の影響を考えると健闘していると考えられる。今後もジップライン及びコシロアドベンチャーを活用しながら幅広い年齢層、県外からの利用者を取り込めていくので、引き続き利用者増につながるように運営を行っていく。</p> <p>○「動くえひめこどもの城」では県内各所へ赴き遊びの支援を行ったり、児童厚生員の資格認定研修では県外から講師を招くこともでき、大型児童館として県下の児童館に対する役割として職員の資質向上に寄与することができた。</p> <p>○また、3/30に「ふわふわドーム」がリニューアルし屋根がついて全天候型となつた。以前は雨天時は団体利用が少なかったが、屋根のせり出し部分なども有効活用し、団体利用促進にもつなげていきたい。</p> <p>○利用者に安心・安全を提供するために、業務効率化等を主とするICT化とDX(デジタル変革)の推進を通じた新たな運営スタイルへの取り組みを継続しており様々な事務作業の効率化を行えている。同時にみきやんアプリの活用を進めており、キャッシュレス利用率が徐々に増えてきている。キャッシュレス利用による利便性の向上や園内利用促進につながっており、今後も園全体での活用を進めていく。</p> <p>デジタル化・非接触に変遷している中、五感全てで感じられる「体験」を多くの方々に提供できる様、持続可能な運営に向けて、施設職員が来園者本位のサービスに注力し、多くの笑顔を咲かせられるように取り組んでいく。</p>	<p>酷暑により上半期の来園者数の落ち込みはあったが、自主事業で「フェスタ・ルーチェinえひめこどもの城」を開催し、結果として来園者増につながった。また、昨年度に引き続き、遊具が無料となる「家族の日」の設定や、各種無料券・夏休みイベントガイドブックの発行などの利用促進を行うとともに、企業・他施設等とのタイアップ事業や創意工夫をこらした夏季の夜間イベントなど、積極的な取組みを行っている。</p> <p>さらに、業務効率化等を主とするICT化やアプリの活用など、来園者の利便性向上が図られている。</p> <p>引き続き利用者増加のため、積極的な事業展開を図っていただくとともに、利用者のさらなる利便性向上にも努めていただきたい。</p>	A

(2) 施設の適正な維持管理のための取組み

指定管理者の自己検証	県施設所管課の検証	評価
<p>○森の広場について</p> <p>森の広場の遊具については、経年劣化により大半のものが使用不可になつていたが、安全対策業務にて大型遊具の撤去を行つた。</p> <p>○ボブスレーについて</p> <p>一部コースの修繕はしたものの、全体にザラツキやひび割れが目立つておりブレーキシューや滑り材の消耗が著しい状況が続いている。コース保護の為、ブレーキシュー交換頻度を上げざるを得ず消耗品費用が大幅に増加している。県内企業にてブレーキシューの製造を開始し経費削減に努めている。</p> <p>○照明設備修繕について</p> <p>今年度も一部LED化を実施したが、水銀灯規制や老朽化による照明設備故障が多く、また、電気料金の削減効果もあるため、更なるLED化など全面的な修繕を検討していただきたい。</p> <p>○園路について</p> <p>園路については、地盤の沈下等による凹凸が著しくロードトレイン、コシロちゃんバスが走行する際に大きく跳ね上がってしまう場合があるため、少しづつではあるが修繕を行っている。</p> <p>上記の通り、経年による老朽化した設備の修繕及び購入、特に高額を要するものについては、協議を重ねていきたいと考えている。</p> <p>また、その他の少額な修繕については、引き続き可能なものはスタッフにて補修、修繕していくよう心がけ、定められた範囲内の費用で対応できるよう取り組んでいく。</p>	<p>開園から年月が経過し、施設の老朽化が進む中、状況に応じた修繕等を実施するとともに、日々の点検も適切に行っており、利用者が安心・安全に遊ぶことのできる場所の提供に努めている。今後も引き続き施設の適正な維持管理に取り組んでいただきたい。</p>	A

(3)利用者からの評価と、意見を反映させるための取組み

指定管理者の自己検証	県施設所管課の検証	評価
<p>○利用者アンケート箱を園内5箇所に設置したりホームページでの要望の受付等、複数の手段により、利用者の意見の収集を行った。 (利用者からの評価)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スタッフの方々がとても優しかったです。また来たいです。ポートのおじさんが優しかった。 ・毎年遊涼み会、冬のイルミネーションと何度か参加させていただいていますが、いつ行ってもスタッフの方が優しくて、子どもも私もとても楽しませいでいただいております。どこのブースのスタッフさんも優しくて、毎年行きたくなります。ありがとうございます。夏休み、子どもにイライラすることも多いですが、スタッフさんはもちろん、今日は周りのお客さんたちも素敵な人が多くて、とても癒されました。行けて良かったです。初めての鉱石探し、とても楽しかったと喜んでおりました。冬のイルミネーションもまた是非お伺いしたいです！ ・遊び方、乗り物(トレインなど園内を周るもの)の乗り方が分かりにくい。総合案内所スタッフの対応が冷たかった。 (利用者からの要望) ・トランポリンを復活してほしい。 ・大人料金が少し高く感じます。割引や乗り放題、セット割などもっと工夫があると嬉しい。スタッフさんみんな優しくて嬉しいです。 ・イベントを増やしてほしい。 	<p>複数の手段により、利用者の意見を収集しようと取り組むとともに、専門的知識を有する委員との意見交換も実施されている。引き続き利用者等に真摯に対応し、えひめこどもの城の魅力向上に努めていただきたい。</p>	A

(4)施設関連情報の発信のための取組み

指定管理者の自己検証	県施設所管課の検証	評価
<p>○団体向けコンテンツとして、SDGs学習コンテンツを引き続き実施し好評であった。引き続きハード・ソフトを含め今後の団体利用促進につなげていく。 ○夏季や冬季など学校長期休暇にあわせ、こどもの城を含む県内のイベント情報をまとめたイベントガイドを発行し、県内の幼稚園・保育園・小中学校への配布を定期的に行っている。 ○とべもりジップラインやコシロアドベンチャーをテーマとした県外地域への情報発信の他、各所のデジタルサイネージ、ビジョン広告にて、施設のイベント案内等を掲載、また、Instagramを中心としたSNS広報にも注力しており、臨場感ある分かりやすい告知動画の投稿、更新回数を増やし、利用者・知名度アップに努めている。また他の指定管理施設や伊予鉄グループでのSNS相互活用も図っていく。</p>	<p>イベントガイドの配布やSNSでの広報など、様々な広告媒体を使用しながらえひめこどもの城の活動情報を発信しており、幅広い層の利用者促進に努めている。 また、自社の強みを活かした広告も行っており、引き続き施設の周知に努めさせていただきます。</p>	A

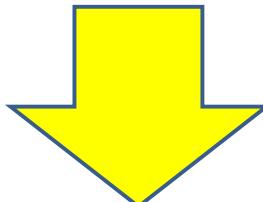
【評価基準】

S…仕様書等で示した基準以上の顕著な成果が挙げられており、指定管理者制度導入の効果が特に認められるもの

A…仕様書等で示した基準以上の成果が挙げられており、指定管理者制度導入の効果が認められるもの

B…仕様書等で示した基準と同程度の成果が挙げられているもの

C…仕様書等で示した基準をおおむね満たしているが、一部工夫や改善を期待するもの



(5)指定管理者制度の導入による効果と課題の検証

県施設所管課の総括
<p>平成18年度の指定管理者制度への移行以来、マスコットキャラクターなどによるPR、無料バスのキャンペーン、開園時間の延長、夜間イベントの実施など従来にない取組みが好評を博し、制度導入直前の来園者数の落ち込みが改善されており、指定管理者制度導入の目的に合致した、一定の成果が上がっている。6年度は、指定管理者制度への移行後、最も多い入園者数(420,630人)となった。 えひめこどもの城が、これから先も多くの幅広い年齢層の方々に親しまれる施設であり続けるために、施設及び遊具の点検や補修に必要な経費を確保するとともに、利用者のニーズに応じた効果的かつ柔軟な企画・運営について検証していきたい。</p>